

## 1. 目的

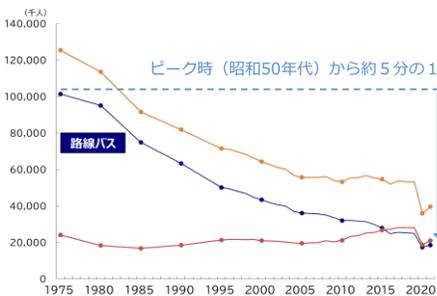
持続可能な公共交通を目指し、地域全体で公共交通を支えていく環境を構築するため、**基幹公共交通軸の強化**及び住民等への**利用促進に向けた取組**を行い、悪循環から好循環への転換を図る



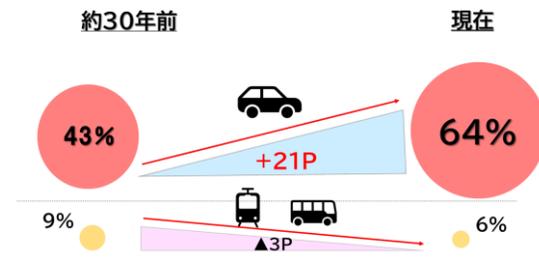
▲持続可能な公共交通に向けた転換イメージ

## 2. 現状・課題

- 公共交通利用者は、右肩下がりに減少  
⇒特に路線バスはピーク時（昭和50年代）の約5分の1まで減少
- 熊本都市圏における自動車交通の分担率は右肩上がりに上昇  
⇒熊本都市圏における交通は自動車为主体  
⇒**熊本市の主要渋滞箇所は政令市ワースト1**



図：公共交通利用者数の推移



図：熊本都市圏の交通分担率（第4回PT調査結果）

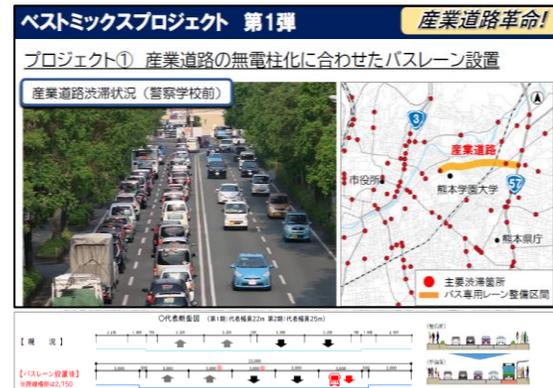
自動車から公共交通へリバランス

**都市交通の最適化(ベストミックス)が必要！！**

## 3. 今年度以降の取組（バス機能強化策の検討）

- ベストミックスの構築に向け、基幹公共交通、特にバスの機能強化策（定時性・速達性・輸送力の向上など）について検討を実施
- 熊本地域公共交通計画に位置付けられている様々な施策から具体的に導入実現を目指す取組テーマを検討
- 導入区間や箇所絞り込み、解決すべき課題及びその対応方針等について議論

### ◇バス専用レーン導入拡大



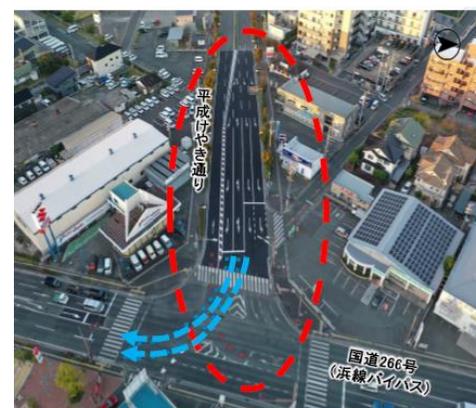
図：バス専用レーン導入範囲（左）、産業道路へのバスレーン導入検討事例（右）

### ◇快速バスの導入



図：西環状道路を活用した快速バス

### ◇ボトルネック交差点の改良



図：スマート交差点改良事例（田迎3丁目交差点）